

会報

通常総会議事報告

社団法人 溶接学会 第76回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成20年4月9日(水) 10:30 ~ 12:10

場所 ハイアット・リージェンシー・オースカ2階会議室 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-13-11

平成19年度事業報告及び会務報告 (平成19年3月1日 至平成20年2月29日)

平成19年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第3条1項)

1.1 春季全国大会

平成18年4月12日~14日 東京ビッグサイト会議棟(東京)

平成19年4月18日~20日 (財)日本教育会館

研究発表講演(90件), 特別講演(1件), シンポジウム(講演7件), フォーラム(講演5件), 若手会員のためのイブニングフォーラム

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成19年9月19日~21日 信州大学工学部(長野)

研究発表講演(187件), 特別講演(1件), 論文賞受賞講演(3件), フォーラム(講演7件), オーガナイズドセッション(11件), 技術セッション(講演8件), ワークショップ(講演4件), 若手会員のためのイブニングフォーラム

参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成19年度溶接技術基礎講座(第35回)

会期 平成17年6月7日, 8日

会場 科学会館(東京)

受講者 52名

2.2 平成19年度溶接工学夏季大学(第56回)「溶接・接合の基礎学理と実践」

会期 平成18年7月18~19日

会場 大阪大学接合科学研究所 荒田記念館

受講者 68名

3. 刊行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌77巻2号~78巻1号(8冊)

主な内容 資料等68篇, データシート7件, 展望1篇

3.2 溶接学会論文集25巻2号~26巻1号(4冊)(WEB)

主な内容 研究論文73篇

3.3 全国大会講演概要集 第80集および第81集(2冊)

3.4 平成19年度溶接工学夏季大学教材「溶接・接合の基礎学理と実践」

3.5 Mate 2008 14th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集(マイクロ接合研究委員

会)

3.6 新版溶接・接合技術入門(産報出版)

3.7 溶接法ガイドブック6「溶接プロセスの高機能化にむけた新しい展開—アーク溶接はどこまで進むか—」

3.8 建築鉄骨溶接特別研究委員会研究成果報「建築鉄骨における溶融亜鉛めっき割れの発生とその防止手法」

4. 研究活動(定款第3条1項)

4.1 研究推進部会(小溝裕一部会長)

2回の会合を開催し, 各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会の活性化を図るとともに, 特別研究会1件が成果報告講習会を開催し, 他1件が継続活動, 研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を検討した。学会活動の情報化に伴う研究委員会HPの拡充, 研究委員会設置形態の見直し, 国際対応, ナショプロ化対応等について検討した。

(1) 春季全国大会においてフォーラム(溶接冶金研究委員会)を開催した。(前掲)

(2) 秋季全国大会においてフォーラム(溶接疲労強度研究委員会)を開催した。(前掲)

(3) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」(中込忠男主査)

冷間成形角形鋼管について角部に注目しためっき割れの再現実験を実施した。めっきに先立ち角形鋼管角部の残留応力の測定を行い, 鋼管の製造方法の違いにより残留応力が引張り, あるいは圧縮となることがわかった。めっきにあたってはめっき処理の有無, 角部の変形拘束の有無等をパラメーターとした。その結果, めっき処理や変形拘束が割れ発生防止に有効であること, 鋼管角部内側に引張り残留応力がある場合に割れが発生することなどの結果が得られた。柱梁接合部の実験結果と合わせて成果を報告書にまとめ, 平成19年11月に研究報告会を実施した。参加者134名 (財)日本溶接技術センター(川崎)

(4) 特別研究会「TIG溶接並みの高品質溶接を可能とする次世代MIG溶接プロセスの開発・実用化」(平岡和雄, 平田好則両主査)

次世代MIG溶接プロセスの開発に向けて, H19年度は鉄鋼材料のNEDOプロジェクトの公募に対して応募し, クリーンMIG溶接プロセス開発研究として採択され, H19年6月からNEDOプロジェクトが開始したため, 特別研究会としては会議開催を実施できなかった。しかし溶接学会秋季全国大会にNEDOプロジェクト概要を紹介するオーガナイズドセッションを開催し, その中でクリーンMIGアーク溶接開発の狙いを具体的に説明してきた。H19年は, その他にも関連技術での実用化研究NEDOプロジェクトが終了するものもあり, H20年度の延長を申請し,

これらを含めて将来展開を纏めてシンポジウム開催を提案する予定である。

(5) 特別研究会「溶接・接合プロセスのビジュアル化最前線」
(田中学主査)

特別研究会を3回(9月, 12月, 1月)開催した。最新の計測・計算技術によって得られる溶接・接合に関わる動画や図を項目ごとに整理するとともに、各項目ごとの担当者を委員の中から選定することにした。それに対応して委員が増強され現在31名となった。さらに動画や図の作成方法および書式についても検討がなされ、その内容を決定した。

(6) アドホック研究会「ファイバーレーザ SMART 加工研究会」
(塚本雅裕 主査)

高品質レーザの一つであるファイバーレーザを用いた加工を中心にレーザ加工の現状を調査し、これからのレーザ加工(レーザ SMART 加工)について調査を進めるとともにレーザ SMART 加工に関するシンポジウム「ファイバーレーザと最新固体レーザシステムによる次世代加工への展開」を開催した。(参照4.6項)

(7) 溶接学会記念基金助成活動(参照会務5.2項)
「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(川上博士主査)

- ① 第3回日韓若手合同シンポジウム(韓国・ソウル)
- ② 日本・インドネシア若手溶接研究者セミナー(インドネシア・ジャカルタ)
- ③ 国際溶接シンポジウム(インド・ニューデリー)

4.2 溶接構造研究委員会(南二三吉委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第174回	19.3.13	東京	48	研究報告5件(日本船舶海洋工学会構造・材料研究委員会材料・溶接部会との合同委員会)
第175回	19.6.27~28	ドイツ	25	5th German Japan Seminar
第176回	19.10.19~21	中国	31	2007 International Forum on Welding Science and Engineeringと合同開催
第177回	19.12.14	九州	18	研究報告4件

4.3 溶接法研究委員会(中田一博委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第198回	19.5.8	東京	34	研究報告6件
第199回	19.7.30~31	大阪	66, 49	研究報告10件 特別講演1件
第200回	19.11.8~9	東京	61, 62	研究報告12件、特別講演1件、招待講演2件(200回記念委員会)
第201回	20.1.31~2.1	東京	50, 50	研究報告12件

4.4 溶接冶金研究委員会(粉川博之委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第188回	19.5.21	東京	32	研究報告6件
第189回	19.8.6~7	大阪	23, 15	研究報告14件 見学会(日韓合同開催)
第190回	19.11.30	広島	54	研究報告15件(The Inter University Research Seminar 2007と合同開催)
第191回	20.1.31~2.1	東京	50, 50	研究報告12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会(森 猛委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第213回	19.4.11	東京	29	研究報告5件
第214回	19.6.12	東京	23	研究報告4件
第215回	19.10.29	千葉	23	研究報告1件 見学会
第216回	20.1.15	東京	25	研究報告5件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会(阿部信行委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第55回	19.5.9	東京	26	研究報告7件
第56回	19.11.21	兵庫	25	研究報告3件 見学会
第57回	20.2.13	東京	25	研究報告7件
シンポジウム	20.2.26	東京	112	「ファイバーレーザと最新固体レーザシステムによる次世代加工への展開」

4.7 軽構造接合加工研究委員会(菅 泰雄委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第77回	19.6.11	東京	28	研究報告5件
第78回	19.9.11	大阪	25	研究報告5件
第79回	19.11.21	兵庫	28	研究報告2件 見学会
第80回	20.2.11	東京	39	研究報告4件

4.8 溶接アーク物理研究委員会(平田好則委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第166回	19.5.30	東京	20	研究報告5件
第167回	19.7.30~3	大阪	66, 49	研究報告10件 特別講演1件
第168回	19.11.30	香川	41	研究報告5件
第169回	20.1.30	東京	24	研究報告5件

4.9 マイクロ接合研究委員会(日置 進委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第84回	19.5.25	東京	86	研究報告5件 特別講演1件
第43回分科会	19.7.20	東京	66	研究報告7件
第85回	19.9.7	東京	71	研究報告4件 特別講演2件
第14回分科会	19.10.26	東京	41	研究報告6件
第86回	19.12.7	東京	60	研究報告6件
シンポジウム	20.2.5~6	横浜	674	Water2008シンポジウム

4.10 界面接合研究委員会(渡辺健彦委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第75回	19.5.18	東京	29	研究報告6件
第76回	19.10.5	東京	30	研究報告6件
第77回	20.1.25	東京	23	研究報告5件

5. 国内活動(定款3条項4)

5.1 日本溶接会議(JIW)の活動援助を行った。

5.2 第1回溶接学術連合講演会を、日本溶接協会並びに産報出版(株)と共同開催開催し、平成20年度第2回開催を準備した。

5.3 共催、協賛、その他(承認順)

日本学術会議材料工学研究連絡委員会、同土木工学・建築学委員会、同機械工学委員会、材料戦略委員会、金属連合協議会、生産学術連合会、電子情報技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他関係学協会への活動に協力した。

- (1) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第7回圧力容器関連規格の国内外動向」(07.03.26)
- (2) 協賛：日本非破壊検査協会「技術者倫理と社会的責任」(05.21)
- (3) 後援：「Heisei 18年度 KSAT 教育講座、めっき技術の最先端と新展開」(02.21~03.13)
- (4) 協賛：第2回アジアマグネシウムシンポジウム「第2回アジアマグネシウムシンポジウム」(10.1-3)
- (5) 協賛：非破壊検査工業会・日本能率協会「非破壊評価総合展2007」(11.06-9)
- (6) 協賛：阪大接合研「第2回スマートプロセス国際シンポジウム」(11.27-28)
- (7) 協賛：レーザ学会「第68回レーザ加工学会講演会」(05.21-22)
- (8) 協賛：日本保全学会「第4回学術講演会」(07.02-03)
- (9) 協賛：日本高圧力技術協会「第17回圧力設備材料、設計、施工、維持管理」(06.14-15)
- (10) 協賛：日本鉄鋼協会「第191・192回西山記念講座、21世紀を拓く高性能厚板」(06.22, 06.26)
- (11) 協賛：日本非破壊検査「第6回保守検査シンポジウム」(03.08-09)
- (12) 協賛：日本材料学会「第12回分子動力シンポジウム」(05.18)
- (13) 協賛：日本材料学会「第42回X線材料強度に関するシンポジウム」(07.12-13)
- (14) 協賛：日本材料学会「第4回ノートパソコンのできる原資レベルのシミュレーション入門講習会」(05.10-11)
- (15) 後援：原子力安全研究協会「安全研究フォーラム2007、軽水炉の後継年化と安全研究」(03.19)
- (16) 協賛：日本検査機器工業会「想像検査機器展(JIMA2007)」(04.04-06)
- (17) 共催・協賛：日本接着学会「第45回年次大会」(06.28-29)
- (18) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第7回圧力容器関連規格の国内外動向」(07.06.08)
- (19) 共催：日本原子力学会「原子力総合シンポジウム2007」(5月末) 共催分担

<p>金：5,000円</p> <p>(20) 協賛：日本塑性学会「塑性加工フォーラム」(03.22)</p> <p>(21) 後援：軽金属溶接構造協会「アルミニウムろう付けセミナー」(07.17)</p> <p>(22) 後援：日本溶接協会「第39回国内シンポジウム，原子力発電プラントにおける溶接・残留応力と強度」(06.18)</p> <p>(23) 協賛：日本顕微鏡学会「第17回顕微鏡大学，初心者向け電顕」(04.19-20)</p> <p>(24) 後援：日本溶接協会「より理想的な鋼構造の設計・製作法を目指して（鋼構造設計・製作法の異分野交流）シンポジウム」(06.18)</p> <p>(25) 共催：Universitat Karlsruhe, Fraunhofer Ins. Werkstoffmechanik" 5th German-Japanese Seminar: Materials, Processes and Components" (06.27-28)</p> <p>(26) 協賛：第10回アルミニウムの接合国際会議「10th Int. Conf. on Joints in Aluminium」(10.24-26)</p> <p>(27) 後援：神奈川科学技術アカデミー「KAST 教育講座，次世代研磨加工技術」(06.4-07.06)</p> <p>(28) 協賛：日本鉄鋼協会「鉄鋼業における最新の計測・生業・システム技術」(11.21)</p> <p>(29) 協賛：日本自動車技術会「第5回全日本学生フォーミュラ，ものづくり，デザインコンペティション」(09.12-15)</p> <p>(30) 協賛：日本鉄鋼協会「第9回白石記念講座，企業における技術・技能伝承」(07.05)</p> <p>(31) 協賛：日本塑性加工学会「第58回塑性加工連合講演会」(10.26～28)</p> <p>(32) 協賛：(社)日本高压技術協会「HPI 技術セミナー」(09.11～12)</p> <p>(33) 協賛：(財)神奈川科学技術アカデミー「H19年度KAST教育講座」(09.05～10.05)</p> <p>(34) 協賛：(財)製造科学技術センター「知的生産システム（IMS）シンポジウム」(07.03)</p> <p>(35) 協賛：日本材料学会「第5回初心者のための疲労設計講習会」(09.05)</p> <p>(36) 協賛：日本材料学会「第6回初心者のための疲労設計講習会」(11.01～02)</p> <p>(37) 協賛：日本材料学会「第37回初心者のための有限要素法講習会」(08.02～03/08.28～29)</p> <p>(38) 協賛：日本学術会議材料工学委員会「第51回材料工学連合講演会（仮称）」(11.27～29)</p> <p>(39) 協賛：日本非破壊検査協会「第16回アコースティック・エミッション総合コンファレンス」(09.27～28)</p> <p>(40) 協賛：OCEANS'08 MTS/IEEE「OCEANS'08 MTS/IEEE /KOBE TECHNO-OCEAN'08」(H20.04.08～11)</p> <p>(41) 協賛：日本機械学会「機械の日・機会週間」(08.01～7)</p> <p>(42) 会議参加：日本機械学会「第3回機械系関連協会長懇談会開催のご案内」(06.18) 中川会長出席</p> <p>(43) 協賛：腐食防食協会「第160回腐食防食シンポジウム」(07.06)</p> <p>(44) 協賛：日本溶射協会「日本溶射協会創立50周年記念行事への参加について」(06.07)</p> <p>(45) 協賛：エレクトロニクス実装学会「第17回マイクロエレクトロニクスシンポジウム（MES2007）」(08.01～7)</p> <p>(46) 協賛：溶接接合工学振興会「第18回セミナー」(10.23)</p> <p>(47) 協賛：高温学会「エレクトロニクス実装におけるスマートプロセス・評価・技術シンポジウム」(09.28)</p> <p>(48) 協賛：日本高压力技術協会「セミナー，新しい ASME Code Sec. VIII, Div.2 解説と適用」(07.12.4～5)</p> <p>(49) 協賛：日本高压力技術協会「セミナー，第5回事故からリスクマネジメント」(07.10.10～11)</p> <p>(50) 協賛：日本高压力技術協会「セミナー，破壊事故，失敗知識の活用」(07.12.12～13)</p>	<p>(51) 協賛：日本高压力技術協会「セミナー，第8回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(08.02.7～8)</p> <p>(52) 協賛：日本高压力技術協会「セミナー，第17回圧力設備の材料，設計，施工，維持管理」(07.11.15-16)</p> <p>(53) 協賛：日本海洋工学会「第20回海洋工学シンポジウム」(08.03.18～19)</p> <p>(54) 後援：製造科学技術センター「ものづくり技術ロードマップ報告会，日本の新たなものづくりに向けて」(08.07.27)</p> <p>(55) 協賛：強化プラスチック協会「52nd FRP CON-EX2007 講演会」(07.11.15-16)</p> <p>(56) 協賛：日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2007」(07.11.15～16)</p> <p>(57) 協賛：日本機械学会「第17回設計工学・システム部門講演会」(07.10.31～11.2)</p> <p>(58) 協賛：腐食防食協会「第44回技術セミナー，腐食を理解するための電気化学入門」(07.09.14)</p> <p>(59) 協賛：腐食防食協会「第34回コロージョンセミナー，腐食解析のための電気化学実験実習」(07.08.29)</p> <p>(60) 協賛：日本材料学会「第45回高温強度シンポジウム」(07.12.06～07)</p> <p>(61) 協賛：日本材料学会「第13回破壊力学シンポジウム」(07.12.17～18)</p> <p>(62) 後援：神奈川科学技術アカデミー「セミナー，パワーエレクトロニクスが拓く次世代モビリティシステム」(07.10.04)</p> <p>(63) 協賛：レーザ加工学会「第69回レーザ加工学会講演会」(07.12.10～11)</p> <p>(64) 共催：エコデザイン工学連合「EcoDesign 2007」(07.12.10～13)</p> <p>(65) 後援：日本溶接協会「熱切断の品質と安全講習会，ガス・プラズマ，レーザ切断の勘所」(07.08.28)</p> <p>(66) 後援：日本溶接協会「プラント圧力設備についての溶接技術の基礎と溶接補修技術に関するシンポジウム」(07.11.27～28)</p> <p>(67) 後援：日本溶接協会「原子力構造機器の材料，設計，施工，検査，維持に関する講習会」(07.12.04～05)</p> <p>(68) 後援：日本圧接協会「技術講習会，鉄筋継手の品質確保のための管理と検査」(07.10.26～11.30)</p> <p>(69) 後援：日本圧接協会「平成19年調査研究発表会」(07.10.09)</p> <p>(70) 協賛：精密工学会「4th CIRP Conference on Manufacturing Systems」(08.05.26～28)</p> <p>(71) 協賛：日本機会学会「第15回機械材料・材料加工技術講習会（M&P2007）」(07.11.17～18)</p> <p>(72) 協賛：日本塑性加工学会「第29回塑性加工フォーラム，特許からみる塑性加工」(07.12.07)</p> <p>(73) 共催：日本鉄鋼協会「イノベーションブリッジプログラム，新しい機能を持った金属材料と金属材料の新しい加工法に関する最先端研究発表」(07.09.18)</p> <p>(74) 共催：光産業創成大学院大学「自動車産業への次世代レーザー加工技術の展開」(07.11.07)</p> <p>(75) 協賛：日本材料学会「第11回機械・構造物の強度設計，安全性評価に関するシンポジウム」(08.02.28-29)</p> <p>(76) 協賛：協賛：日本材料学会「第27回 疲労講座「疲労現象の学び方と設計への応用，ベテランが語り伝える疲労のおはなし」(07.12.07)</p> <p>(77) 協賛：日本材料学会「第44回 X 線材料強度に関する討論会，中性子線を用いた材料評価への取り組み」(07.11.30)</p> <p>(78) 協賛：日本材料学会「JCOM-37，材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム」(08.3.18-19)</p> <p>(79) 協賛（WD 研究委員会）：Beijin Univ of Tech「2007 Intl Forum on Welding Science & Engineering」(07.10.19-21, China)</p> <p>(80) 後援：神奈川科学技術アカデミー「教育講座，研究者・技術者のための高信頼性マイクロソルダリング技術」(07.11.21-29)</p> <p>(81) 協賛：合同会社フロンティアものづくりリエゾンオフィス（MLO）「2007年</p>
--	--

誌 名	国 名		
1 Australian Welding Research	オーストラリア	53 Varilna Tehnika	〃
2 Revista Soldadura	アルゼンチン	54 Metallic Materials	〃
3 Schweiss-& Prufung Technik	オーストリア	55 Science in China	中国
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー	56 地質学報	〃
5 Leurotest Technical Bulletin	〃	57 金属学報	〃
6 Metalurgia	ブラジル	58 鋼 鉄	〃
7 Revista da Soldagem	〃	59 Transactions of the China Welding Institution	〃
8 Soldagem & Inspeccao	〃	60 冶金分析	〃
9 Canadian Welder & Fabricater	カナダ	61 材料科学	〃
10 Zvaranie	チェコ	62 China Welding	〃
11 Welding News	〃	63 Singapore Welding Society Newsletter	シンガポール
12 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド		
13 Soudage et Techniques Connexes	フランス		
14 Bulletin Singanaletique	〃		
15 Sciaky	〃		
16 Schweissen und Schneiden	ドイツ		
17 Schweisstechnik	〃		
18 Wissenschaftliche Zeitschrift	〃		
19 Indian Welding Journal	インド		
20 Journal of the Association of Engineers	〃		
21 Rivista Italiana della aldatura	イタリア		
22 Korean Scientific Abstracts	韓国		
23 大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	〃		
24 大韓熔接学会誌	〃		
25 Metals and Materials	〃		
26 Korean Welding Society	〃		
27 Electronic Materials Letters	〃		
28 Lastechnik	オランダ		
29 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド		
30 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃		
31 Polish Engineering	〃		
32 Technologia Qualidade	ポルトガル		
33 Buletin IPI	ルーマニア		
34 Serie de Metalugia	〃		
35 Sudura	〃		
36 Revista de Metallugia	スペイン		
37 Revista de Soldadura	〃		
38 Soldadura y Tecnologias de Union	〃		
39 Svetsaren	スウェーデン		
40 Schweisstechnik Soudure	スイス		
41 Welding & Metal Fabrication	英国		
42 Welding Review	〃		
43 Metals Technology	〃		
44 Welding International	〃		
45 Welding Journal	米国		
46 Welding Research Abroad	〃		
47 WRC Bulletin	〃		
48 CA Selects (Ceramic Materials)	〃		
49 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ		
50 Strength of materials	〃		
51 All - Union Monthly of Engineering Physics	〃		
52 Zavaranie svarovani	スロベニア		

II. 会 務 報 告

1. 第75回通常総会

日 時 平成19年 4 月19日（木）
開会 午前10時00分 開会 午前11時45分

場 所 日本教育会館
議決権を有する者：理事 20名（うち11名は評議員と兼任）
評議員 147 名

出 席 37名（理事15名，評議員30名）（理事と代議員を兼任 8 名）

委任状 84名（理事 4 名，評議員82名）（理事と代議員を兼任 2 名）

合 計 121 名（総数 156 名）

監 事

出 席 牛尾誠夫

特別幹事 西本和俊

議 事

- ① 平成18年度事業及び会務報告の件 承認
- ② 平成18年度収支決算報告の件 承認
- ③ 監査報告 承認
- ④ 平成19年度事業計画の件 承認
- ⑤ 平成19年度収支予算の件 承認
- ⑥ 特別員推薦

青木博文，志賀千晃，百合岡信孝，藤盛紀明

⑦ 表彰

溶接学会賞

牛尾誠夫

溶接学会貢献賞

西本和俊

溶接学会業績賞

菅 泰雄，渡辺健彦

平成18年度佐々木賞

菅 哲男，原田章二

平成18年度溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

内藤恭章，水谷正海，片山聖二

日野孝紀，西田 稔，荒木孝雄

小溝裕一，寺崎秀紀，米村光治，小薄孝裕

溶接学会論文奨励賞

坂元理絵

田代真一

平成18年度田中亀久人賞
松村浩史，定廣健次，高田篤人，曾賀光郎
溶接学術振興賞
佐藤浩一，豊原 力，西尾一政
妹島賞
宮崎建雄
溶接学会研究発表賞
平成18年度春季全国大会（4件）
西川 宏，上路林太郎，金谷貴志，沖田泰明
平成18年度秋季全国大会（7件）
寺崎秀紀，森貞好昭，水越健一，川人洋介，
木村静太，佐野智一，江草 稔
溶接学会ベストオーサー賞（3件）
山根國秀
南二三吉
内田雅信，辻井 元，大縄登史男
溶接学会シンポジウム賞
溶接構造シンポジウム2006
優秀論文賞
寺崎俊夫，川上博己，長谷川弘毅，福谷理明
中野利彦，長岡茂雄，森本朋和，有田 大
中村春夫
Mate 2007
Mate 2007優秀論文賞
山本健一，赤星晴夫，加藤隆彦，川村利則，
木本良輔，佐藤了平
Mate 2007研究奨励賞
稲本哲広
溶接学会奨学賞
北海道支部：小畑潤平 東海支部：劉 忠杰
東北支部：竹澤大輔 ：中嶋純也
東部支部：高橋祐介 中国支部：川崎篤志
：松岡範幸 九州支部：邸 然鋒
：田中祐以 ：藤井美保
関西支部：岡村有貴
：鷺見信行
：巽 裕章
：高橋謙悟

⑧ 溶接学会フェロー認定
篠田 剛，沓名宗春，寺崎俊夫，西本和俊，
中山 繁，日置 進，渡辺健彦，中西保正，
塚本 進，大北 茂，安田功一，前川 仁

⑨ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受入れ状況及び活用状況報告

⑩ 感謝状贈呈
北海道支部（平成18年度秋季全国大会開催担当）殿

2. 理事会（定例7回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 溶接学会活性化について

学会の活性化に向けて，企画委員会を中心に，将来展望と活動目標を検討する活動を実施し，学会構成員の評価向上，溶接（高度）技術者教育，支部との連携のあり方，賛助会員へのサービスのあり方，などアクションプログラムの効果を引き続き検

討するとともに，会勢増強，活動資金獲得に向けた活動の推進を図った。

(2) 財政改善について

逼迫した財政状態改善のために，人件費，事務費の節減，会誌印刷費のコスト低減など支出を引き締めるとともに，講習会，広告料など会費外収入の増加を図り逐次実行に移した。

(3) 会勢の拡張について

正員の増強，学生に対する啓発及びサービス活動の強化，そして財源の安定化と学会活動 の浸透を図った。

(4) 特別研究活動の推進について

研究推進部会の提案に基づいて，特別研究会の設置及び活動の推進について審議した。特別研究会3件，アドホック研究会1件が活動し，特別研究会1件及びアドホック研究会が成果報告のシンポジウムを開催した。（前掲）

(5) 溶接連合講演会

本会，日本溶接協会，産報出版の合同企画にて，第1回溶接連合講演会を本会の平成19年度 春季全国大会第3日目開催し，第2回実施に向けて準備した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会（平岡和雄委員長）

学会の活性化に向けて，前年度に引き続き，学会活動の活性化および財政基盤強化を目指した21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン（平成14・15年度提案 MeRIT-21 ビジョン）の実務活動を引き続き展開した。平成19年度は，情報発信強化など活性化に向けた施策を推進するとともに平成18年度に実施した財政改善対策効果の確認に重点において活動した。財政においては，必要活動支出経費に対して，大幅に改善され財政健全化に目処が立ってきた。賛助会費値上げによるご支援，会勢拡大キャンペーンによる会員数の確保・増強，さらに平成19年1月から実施した論文集のWEB化による学会運営合理化などが大きな改善要因である。今後とも一層の運営合理化と次世代の中堅ならびに若手研究者，技術者を掘り起こす努力が不可欠である。その第1歩として，中核的研究者を顕彰し，奨励する溶接学会技術貢献賞を新設した。

情報発信強化においては，懸案であった溶接学会ホームページを全面改訂した。これにより，日本溶接協会情報センターとのHP連携を進めることができ，連携を本格化して次年度に一元化した溶接情報発信拠点を形成していくことで合意した。また同協会との共同出版事業を一例として提案し，連携した溶接情報源の効果的収集手法の検討を開始した。

会員サービス向上に向けて，溶接学会論文集のWEB化により，掲載までの期間を1/3化，さらに投稿料の大幅低廉化に成功した。溶接学会誌においては，会員の意見を反映した記事掲載化などの新たな取り組みを開始した。さらに，平成20年春季全国大会においては国際Welding Showとの連携開催ならびに日本溶接協会，産報出版社との第2回連合講演会を同時開催した。

その他，学会事務所移転も諸条件を満たせば可能としたこと，学会事務局における再雇用規定の策定など学会の合理化と諸整備案件を処理した。

3.2 溶接情報化委員会（南二三吉委員長）

年度内1回の委員会，2回のE-mail持ち回り会議，2回のWGを開催し，本会の活動の情報化に関する諸検討を実施した。

(1) 論文集，全国大会講演概要集に加えて，学会誌も創刊号

からJ-stage（科学技術情報発信・流通総合システム）においてアーカイブ化されることになったのに伴い、本会HPにリンクするJ-stage およびNII（国立情報学研究所）での本会電子出版物の公開方法を以下ように確認した。

- ・溶接学会論文集：発刊後すぐに公開（会員、非会員とも無料）
- ・溶接学会誌：発刊後3年後に公開（会員は無料、非会員は有料）
- ・全国大会講演概要集：全国大会終了後すぐに公開（会員、非会員とも無料）

- (2) 本会の会員認証システムの導入計画の検討に伴い、認証システム導入後の本会電子出版物、研究委員会資料のHPを通した公開方針を定めた。
- (3) 本会著作出版物の著作権を外部へ移譲する場合の処理要領を定めた。
- (4) リニューアル公開した本会HPの内容充実を図った。
- (5) J-stage における購読機関向け利用統計、CrossRef、Cross web service、外部サイト（Google など）とのリンク、J-stage 記事検索について、参加することにした。
- (6) 日本溶接協会で溶接情報センターが公開されたことに伴い、情報センターへの情報提供に関する協議を協会側と行い、学会が協会と協調して情報化推進にあたることで合意した。具体的な協調の仕方については、今後協議していく。

3.3 編集委員会（中田一博委員長）

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB 論文集として発行した。溶接学会誌の内容改訂を行い、会員の要望に添った学会誌の内容充実を図る為に、会員モニター115名を選任した。ベストオナー賞候補者4件を選考した。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）事業に引き続き参加し、溶接学会誌は創刊号からを対象として発行日から3年経過後に同サービスにて公開した。また溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）に引き続き参加して、溶接学会論文集を 発行直後から同サービスにて公開した。

英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加した。

3.4 論文査読・審査委員会（粉川博之委員長）

平成19年7月27日に年一回全委員が集まる定例委員会を開催し、昨年度本格実施を始めた インターネット利用による電子査読委員会がおおむね順調に進行しており、投稿論文査読開始時における査読者の選任およびその審議・承認手続きと投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査をインターネット上で随時迅速に行えていることを確認した。本年度は、論文投稿から査読完了（受理日）までの期間が6ヶ月以内の論文が全論文の93%以上、4ヶ月以内の論文約84%を達成した。最短のものでは22日で査読完了となり、大幅な査読期間短縮の成果が出ている。

英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集と STWJ-JWS collaboration 推薦投稿を実施し、年間13件の溶接学会論文を STWJ 誌へ推薦した。

3.5 全国大会運営委員会（藤本公三委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成19年度春季・秋季全国大会および平成20年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第80集および第81集を編集発行した。
- (3) 平成19年度秋季および平成20年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成19年度春季及び秋季大会にて実施した。
- (5) 春季大会にて産業界の有識者による特別講演を実施した。
- (6) 国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）に全国大会講演概要集掲載を引き続き実施した。
- (7) 科学技術情報発信・総合流通システム（J-Stage）を利用した、インターネットによる全国大会研究発表・原稿提出・J-Stageにて公開を実施した。

3.6 溶接教育委員会（平田好則委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成19年度溶接技術基礎講座を開催した。（前掲）
- (3) 平成19年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (4) 第43回工業高校教員のための溶接工学夏期講座を検討した。
- (5) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (6) 国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの運用実施に向けて、日本溶接協会と連携作業した。平成20年度より受験者を募集する予定で、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワークなどの試験実施要項について検討した。
- (7) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムの IIW 履修ポイントについて、IIW 特認コース WG を通してアナウンスした。
- (8) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討した。

3.7 国際交流委員会（村川英一委員長）

- (1) 国際交流の在り方、国際戦略について検討した。
- (2) 海外名誉員、推薦会員（Guest Member）について検討した。
- (3) 日米、日韓、及びヴェトナム等学術交流協定に基づいた協力事項を検討した。
- (4) 各国からの依頼事項、照会事項を処理した。
- (5) アジア溶接連盟（AWF）の日常活動及び総会に参加した。
- (6) 第8回国際シンポジウム（8WS）開催準備に協力した。

3.8 科学研究費委員会（平岡和雄委員長）

文部省科学研究費分科細目の変更に係る問題の検討及び科学研究費の申請に係る事項を処理した。

3.9 溶接用語委員会（池内建二委員長）

- (1) IIW 第6委員会と合同で1回の委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援した。
- (2) 日本溶接協会規格委員会、JIS 溶接用語改訂準備委員会の

活動に協力した。

- (3) 溶接・接合用語辞典の発刊を検討した。

4. 若手会員の会（佐藤 裕委員長）

4.1 若手会員のためのフォーラム（共催：（財）溶接接合工学会振興会）

- (1) 春季全国大会フォーラム，懇親会

主 題：グローバルネットワーク形成委員会活動報告会

日 時：平成19年4月19日（木）17:00～18:30

場 所：日本教育会館（春季全国大会開催会場）
第3会場

参加者：約20名

- (2) 秋季全国大会フォーラム，懇親会

主 題：若手の研究ポスターセッションと交流会

日 時：平成19年9月20日（水）18:00～19:30

場 所：信州大学工学部総合研究棟玄関ホール

参加者：約70名

4.2 若手会員のための見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 第3回日本－韓国若手溶接研究者合同シンポジウム（記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催）

主 題：The 3rd JWS-KWJS Young Researchers Symposium（日韓で講演5件ずつ計10件）

日 時：平成19年5月10日（水）11:00～15:50

場 所：COEX（Seoul, Korea）

参加者：約50名

- (2) 海外溶接基礎セミナー（記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催）

主 題：International Welding Seminar（講演12件）

日 時：平成19年10月23日（火）9:20～16:30

平成19年10月24日（水）8:50～12:00

場 所：Gran Melia Hotel (Jakarta, Indonesia)

参加者：約100名

- (3) 海外溶接基礎セミナー（記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催）

主 題：International WELDING Symposium IWS 2k8（講演10件）

日 時：平成20年2月13日（水）11:00～17:00

平成20年2月14日（木）9:30～17:00

平成20年2月15日（金）9:30～15:30

場 所：Pragiti Meidan (New Deli, India)

参加者：講演80件

- (1) 基礎セミナー（東海支部との共催）

場 所：三重大学工学部

日 時：平成19年10月4日（土）10:00～16:30

参加者：約100名

4.3 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集ページ」に，運営委員会，イブニングフォーラム，シンポジウムの報告等を掲載した。

- (2) 溶接学会誌の特集号として，第76巻第2号に「溶接プロセス予測モデルの最前線」を企画，掲載するとともに，「スポットライト－若手の特集記事－」として，第75巻第4号に「電磁力を用いた溶接現象の解析（沖縄工業高等

専門学校 松田昇一氏）」，第76巻第8号に「インタビュー－私の溶接履歴－（広島大学 山本元道氏）」を掲載した。

- (3) ホームページに活動報告，行事案内等を掲載した。

- (4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。

有効登録者数 約225名（平成20年2月29日現在）

E-mail 投稿数 約100通（平成19年3月1日から平成20年2月29日まで）

4.4 若手会員の会運営委員会（佐藤 裕委員長）

計2回の運営委員会を開催し，活動方針と企画について審議した。

・第36回運営委員会

日 時：平成19年4月19日（木）11:50～13:00

場 所：日本教育会館（春季全国大会開催会場）
7F 704会議室

出 席：13名（在籍49名）

・第37回運営委員会

日 時：平成19年9月20日（水）12:10～13:00

場 所：信州大学工学部社会開発工学科西棟2階会議室

出 席：11名（在籍49名）

5. その他の諸会合

支部長会議	4
財務理事会	2
総務理事会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会貢献賞授賞審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞授賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞授賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	2
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	2
溶接学会ベストオーサー賞	1
溶接学会フェロー選考委員会	1

6. 会 勢

会員数（平成20年2月末現在）

賛助員		団体員 （口数）	個人会員						個人会員
会員数	口数		名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	
380	950	44(49)	32	69	10	2,925	208	3,244	

会員の移動

種 別	賛 助 員		正 員	学生員	団体員 （口数）
	会員数	口 数			
19年度初在籍数	380	949	2,904	219	48(53)
入 会	6	7	104	68	----
退 会	8	9	213	74	4(4)
口 数 増	(1)	1	-----	-----	-----
変 更 減	-----	-----	-----	-----	-----
資 格 増	-----	-----	22	1	-----
変 更 減	-----	-----	* 5	22	-----
計	380	950	2,925	208	44(49)